

【茅場】のシンポジウム

知ってた？
人にも、自然にも
生き物にも優しい
“茅”のこと。

日名倉山茅場から考える 里山の未来

— 全国の茅場の事例を学びながら —

2025年 7月12日(土)

受付開始
12:30

13:00 ~ 16:00

会場 | 愛の村パーク大会議室(岡山県美作市後山1872)



参加無料
定員 50 名

※先着順、要申込
裏面をご確認下さい



主催 | 株式会社くさかんむり
協賛 | 株式会社丸五

後援 | 美作市、東栗倉棚田地域振興協議会
協力 | 一般社団法人日本茅葺き文化協会



このイベントは文化庁
「ふるさと文化財の森システム推進事業」
普及啓発事業です。



知ってた？人にも、自然にも、生き物にも優しい“茅”のこと。

茅場は、人々の暮らしを支えている草の生産地です。茅は屋根を葺く材料として使われ、定期的に刈り取り、手入れされることで、草原の風景と多様な生き物のすみかが守られています。しかし現在、茅場が全国各地で失われつつあります。本シンポジウムでは、日名倉山の茅場の取り組みを紹介するとともに、全国の事例から、茅と人との関わり、草原と生き物のつながり、そして未来に向けた茅の活用や、里山の可能性を考えます。



タイムスケジュール

13:00~13:05 開会挨拶

13:10~14:40 第1部

「茅」・「茅場」って何？

第1部では、全国の茅場の管理者や、茅葺き職人が登壇し、「茅」や「茅場」の事例紹介を行います。茅刈り職人と茅葺き職人、それぞれの視点から茅場の管理方法や、維持管理の難しさなど、地域の特徴を紹介します。

15:00~16:00 第2部

「茅」って、もっと可能性がある。

第2部では、登壇者によるパネルディスカッションを行います。茅場を整備すると、自然や里山にとって何がいいのか？茅葺き屋根以外での茅の活用はできるのか？「茅」のもつ可能性を探り、これからの茅場の維持管理の方法についてや、新しい茅の活用などについて考えます。

登壇者

居安 住泰

美作市後山地区 区長



植田 龍雄

阿蘇茅葺工房 代表
茅葺き職人 / 茅刈り職人



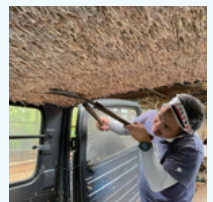
長田 友和

有限会社富士勇和産業 代表
茅葺き職人 / 茅刈り職人



沖元 太一

一般社団法人日本茅葺き文化協会 理事
茅葺き職人連合 幹事長



佐藤 誠

一般社団法人金ヶ崎産業開発公社
「南部茅」生産担当

申込締切

2025 年 7 月 4 日(金) 17:00 まで

申込方法

オンラインの申込フォーム、もしくは申込用紙にて

お問合せ

ito@kusa-kanmuri.jp もしくは 070-9128-2856
※受付時間：月～金 9:00~17:00（担当：伊藤）

会 場

愛の村パーク大会議室（岡山県美作市後山 1872）※無料駐車場有

アクセス

お 車 の 方 | 大原 IC もしくは西粟倉 IC より約 10 分
公共交通機関の方 | 智頭急行「大原駅」よりタクシーで約 15 分

お申込みはこちら



キリトリ

代表者氏名		人数	
連絡先			人

FAX(050-3457-8108) で送付・
または美作市東粟倉総合支所に
ご提出ください。